

31.湖東圏地域公共交通再編実施計画

- 定住自立圏の圏域と連動した区域で計画を策定
- 立地適正化計画において指定した都市機能誘導区域および居住誘導区域の交通ネットワークを充実
- 重複路線の解消、利用の少ないバス路線を乗合タクシーに転換などにより、運行経費の効率化を実現

【主な事業内容】

彦根市中心部の都市機能誘導区域および居住誘導区域における利便性向上と収支率改善

- ① 路線の整理および商業施設経由便を新設・増加
- ② 同一事業者競合路線の統合
- ③ 利用者の多い主要施設（市立病院・県立大学）と彦根駅を結ぶ路線の増便

同一方面路線の統合による輸送の効率化および増便による収支率改善

- ④ 多賀町内を走行する「ブリヂストン線」および「多賀線」を統合し、「多賀線」として再編
通勤利用者が増加傾向にあるびわ湖東部中核工業団地行き
の増便

バス路線から乗合タクシーへの移管による効率化と公的負担額の削減

- ⑤ 著しく利用者の少ない市内平坦部のバス路線を乗合タクシーへ移管
- ⑥ 今後において利用者増が見込めない中山間地域のバス路線を乗合タクシーへ移管

【計画区域】滋賀県彦根市、愛荘町、甲良町、豊郷町、多賀町 全域（1市4町）

【実施期間】平成31年4月1日から平成36年3月30日まで（5ヶ年）

